



新型コロナウイルス感染症 三鷹市緊急対応方針(第9弾) ……	2面
粗大ごみの処理制度が 新しくなりました ……	2面
保育園・学童保育所などの 入園・入所申し込み ……	3面
市からのお知らせ ……	11面から
大沢の里水車・古民家まつり ……	12面

## 新型コロナウイルス最新情報

市では新たに、武田/モデルナ社ワクチンの夕方・夜間接種と、29歳以下の方を対象にした三鷹駅前での予約不要のワクチン接種を実施します。なお、集団接種会場での1回目の接種は10月24日(日)で終了し、その後の接種は、医療機関での個別接種で行います。12歳以上で希望する方は早めの接種をお願いします。

☎三鷹市新型コロナウイルス接種コールセンター ☎0570-026-567

### 集団接種

#### ワクチンの種類/接種日時

- ファイザー社=10月6日(水)~10日(日)午前9時~午後5時(9日(土)は7時まで)
- 武田/モデルナ社=10月5日(火)~15日(金)の毎週火・水・金曜日午前9時~午後5時、19日(火)・20日(水)・22日(金)午後3時30分~8時
- ※2回目の予約は1回目の接種後に会場でご案内します(原則として同じ会場、ファイザー社は3週間後、武田/モデルナ社は4週間後の日程)。
- ※武田/モデルナ社は2回目だけの予約も可。

#### 接種会場

元気創造プラザ

#### 予約方法

予約受付中。10月19日(火)・20日(水)・22日(金)の夕方・夜間接種の予約は10月4日(月)午前9時から受け付けます。

※空きがあれば予約がなくても接種券持参で当日接種可(受付は終了1時間前まで)。

#### ◆三鷹市ワクチン接種web予約サイト(右記二次元コード)



#### ◆市コールセンター ☎0570-026-567(平日午前9時~午後5時)

※フリーダイヤルではありません。音声案内終了後は電話料金がかかります。

### 29歳以下の方へ

三鷹駅前の三鷹ネットワーク大学で、**予約不要**のワクチン接種を実施します。受け付け開始時に定員に達した場合は抽選を行います。

※16歳未満の方は保護者の同伴が必要です(中学生以上の方は予診票に保護者の同意(署名)と連絡先が記載してあれば同伴不要)。

#### ◆ワクチンの種類 ファイザー社

📅 10月8・22日の金曜日午後6時~9時(5時30分から受付)、10月10・24日の日曜日午後2時~5時(1時30分から受付)

※受け付け開始の1時間前から整理券を配布します。

※2回目の予約は1回目の接種後に会場でご案内します(原則として同じ会場で3週間後の日程)。

👤 12~29歳の市民各日100人程度 📍 三鷹ネットワーク大学

📄 接種券、記入済みの予診票、本人確認書類(運転免許証、保険証、学生証など)

※持ち物に不足がある場合、接種できないことがあります。

📄 当日会場へ

### 個別接種

医療機関で予約を受け付けています。

#### ワクチンの種類

ファイザー社

#### 接種会場

市内約70カ所の医療機関(一覧は市ホームページ<右記二次元コード>をご覧ください)



#### ◆接種会場を縮小します

10月11日(月)以降、接種会場の医療機関を縮小し、ワクチン接種を継続します。

医療機関の一覧は、市ホームページのほか、『広報みたか』10月17日発行号でもお知らせします。

#### 予約方法

医療機関で直接予約(市の予約サイトやコールセンターでは予約できません)。

※コロナワクチンナビ(右記二次元コード)で医療機関の予約状況などが確認できます。



### 三鷹市の新型コロナウイルス接種状況

(9月27日現在・速報値)

対象	対象者数	1回目接種者数 (接種率)	2回目接種者数 (接種率)
65歳以上の方	41,568人	38,587人 (92.8%)	37,735人 (90.8%)
40~64歳の方	68,965人	54,088人 (78.4%)	46,511人 (67.4%)
12~39歳の方	61,109人	36,724人 (60.1%)	21,548人 (35.3%)
合計	171,642人	129,399人 (75.4%)	105,794人 (61.6%)

### YouTubeをご覧ください

YouTube「三鷹市公式動画チャンネル」で、河村市長のメッセージを配信しています。



新聞等でもご存じだと思いますが、8月26日付で多摩府中保健所管内の6市が、東京都に対して、自宅療養者の急増に対応するため、「野戦病院」ともいべき臨時の医療施設を開設してほしいと要望書を提出しました。都はそれに応えて、味の素スタジアムの敷地内に、「酸素・医療提供ステーション(74床)」を9月18日から急ぎ設置することにしました。

一時は、三鷹市だけでも自宅療養者(調整中の方も含む)が、約500人もいました。これは「医療崩壊」と言ってもいい深刻な事態です。もちろん、都による同ステーションの設置だけでなく、全ての課題に対応できるわけではありませんが、軽症者に医療面での措置をして、全体の流れを良くすることはできます。

今は陽性者の数も、自宅療養者の数も激減しつつあります。でも、油断はできません。三鷹市では、既に実施している自宅療養者への食料支援やパルスオキシメーターの貸与に加えて、きめ細かな相談を通して在宅での生活を支援する「三鷹市自宅療養者相談支援センター」を10月1日から開設します(2面参照)。今後、少しでも、市民の皆さんの安全・安心な暮らしが確保できるように取り組みを進めます。



三鷹市長  
河村 孝

「医療崩壊」を避けるために

市長コラム